

経済産業省が主導する産官学連携パートナーシップ 「サーキュラーパートナーズ」への参画に関するお知らせ

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:藤森康彰)は、サーキュラーエコノミーの実現に向けて経済産業省が立ち上げた産官学のパートナーシップである「サーキュラーパートナーズ」に参画したことをお知らせします。

サーキュラーパートナーズは、経済産業省が2023年3月に策定した「成長志向型の資源自律経済戦略」を踏まえ、具体的なアクションの一つとして新設した協議体です。国、自治体、大学、企業・業界団体など産官学が連携し、サーキュラーエコノミーの実現に必要な施策について検討を実施しています。

共同印刷グループは、マテリアリティ(重要課題)の一つとして「循環型社会 ~革新的なパッケージとサービスで、サステナブルな未来をつくる」を掲げています。資源を有効活用する環境対応製品の開発や、化学物質低減設計製品の拡充、環境負荷低減新素材の開発を行うことで事業領域を拡大し、持続可能な社会の実現と経済成長の両立をめざしています。

今後は、サーキュラーパートナーズへの参画を通じてパートナーシップによるイノベーションの推進を強化するとともに、回収と再資源化の循環スキーム構築にも積極的に関与していくことで、サーキュラーエコノミーの早期実現に向けて取り組んでいきます。

「サーキュラーパートナーズ」募集の概要(参考:経済産業省ニュースリリース)

<https://www.meti.go.jp/press/2023/09/20230912002/20230912002.html>

共同印刷グループの循環型社会に向けた取り組み

<https://www.kyodoprinting.co.jp/sustainability/environment/recycling/>